

堀内誠一

旅と絵本とデザインと

2009年7月4日(土)～9月6日(日)
世田谷文学館

開館時間… 10時～18時 (ミュージアムショップは17時まで。 展覧会入場は17時30分まで)

休館日… 毎週月曜日 (ただし7月20日(月)、8月31日(月)は開館。 7月21日(火)、8月30日(日)は休館)

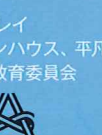
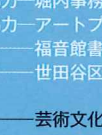
観覧料… 一般 700円 (560円)

高校・大学生 500円 (400円)

65歳以上・障害者 350円 (280円)

※中学生以下は無料

※(一)内は20名以上の団体料金

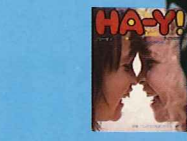


主催——世田谷文学館
特別協力——堀内事務所
企画協力——アートプランニング・レイ
協力——福音館書店、マガジンハウス、平凡社
後援——世田谷区、世田谷区教育委員会

助成——芸術文化振興基金

財団法人 せたがや文化財団
世田谷文学館

157-0062 東京都世田谷区南烏山 1-10-10
Tel: 03-5374-9111 代 Fax: 03-5374-9120
ホームページ <http://www.setabun.or.jp/>



雑誌のアート・ディレクターとして、また、絵本作家として、多彩な創作活動を繰り広げた堀内誠一。本展では、幼少期から晩年に至るまでの足跡をたどり、「旅」・「絵本」・「デザイン」の3領域にわたる創作活動の全容を、約200点の作品・資料によって紹介します。

堀内誠一略歴

- 1932年 東京・向島に生まれる。父は図案家で、幼少期より多くの絵本やポスター、映画に親しむ。
- 1947年 14歳で新宿伊勢丹百貨店宣伝課に入社。ウィンドウディスプレイや催事デザインを手がける。
- 1957年 アド・センター設立に参加。
- 1958年 最初の絵本『くろまブランキー』（伊東三郎訳、福音館書店）を出版。
- 1959年 『週刊平凡』（平凡出版・現マガジンハウス）創刊。アド・センター企画「ウィークリー・ファッショ」のアート・ディレクションを担当。
- 1960年 はじめてのヨーロッパ旅行。約半年に渡り各地を巡り歩く。
- 1964年 『平凡パンチ』（平凡出版）創刊。「パンチ・メンズモード」ページのアート・ディレクションを担当。
- 1965年 『ぐるんぱのようちえん』（西内ミナミ作、福音館書店）出版。
- 1968年 『血と薔薇』（澁澤龍彦責任編集、天声出版）創刊。アート・ディレクションとロゴデザインを担当。
- 1969年 アド・センターを退社し、フリーランスとなる。
- 1970年 『アンアン』（平凡出版）創刊。アート・ディレクションとロゴデザインを担当。
- 1974年～1981年 家族とともにパリ郊外アントニーに移住。多くの絵本やエッセイを発表する傍ら、パリを拠点に各地を旅した。
- 1980年 『ブルータス』（平凡出版）創刊。アート・ディレクションとロゴデザインを担当。
- 1987年 下咽頭癌のため死去。享年54歳。



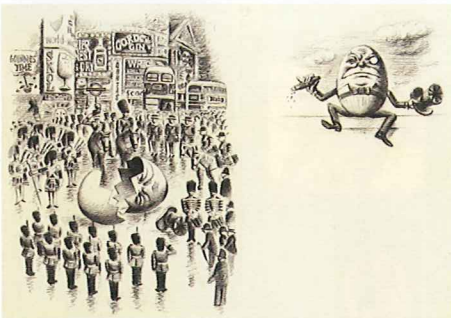
《パリの名所絵地図》1980年
『アンアン』第259号（平凡出版・現マガジンハウス）掲載

絵本

『ぐるんぱのようちえん』、『くるみわりにんぎょう』、『マザー・グースのうた』、『秘密の花園』、『ちのはなし』などの原画を展示。『絵本の世界 110人のイラストレーター』に掲載された貴重な絵本を展示し、絵本史の紹介者としての側面も紹介。



『ぐるんぱのようちえん』原画 1965年
※本作の原画は、会期中前後期に分けて展示替えを行います。
詳細はお問合せください。



『マザー・グースのうた 第1集』挿絵原画 1980年
(訳／谷川俊太郎、草思社)

旅

イラストとエッセイで綴られた旅の案内『パリからの旅』、『堀内誠一の空とぶ絨織』の原画をはじめ、スケッチで彩られた友人知人宛のアエログラム（航空書簡）、旅先で撮影された写真、各地で買収求めた郷土玩具などを展示。



福音館書店編集部署宛て
アエログラム 1974年

デザイン

『ロココール』、『血と薔薇』、『アンアン』、『ブルータス』などの雑誌アート・ディレクション、グラフィック・デザインの仕事に加え、装丁を手がけた書籍・写真集、1950～60年代の「アド・センター」時代の仕事を紹介。



『アンアン』第6号表紙 1970年
(写真／立木三朗、平凡出版・現マガジンハウス)

堀内誠一 旅と絵本とデザインと



関連イベント

「堀内さんの『旅』」

巖谷國士（仏文学者・旅行作家・明治学院大学教授）

日時／7月11日（土）14時～15時30分

「堀内さんの絵本」

スズキコージ（絵本画家）× 土井章史（トムズボックス代表・絵本編集者）

日時／8月8日（土）14時～15時30分

「堀内さんの雑誌づくり」

石川次郎（エディトリアルディレクター）× 幅允孝（BACH代表・ブックディレクター）

日時／8月29日（土）14時～15時30分

会場／1階文学サロン 料金／各回1000円（観覧会入場券付き。中学生以下無料）

*各回の当日11時より1階ロビーにてチケットを販売。定員150名。

トークイベント

キッズ・プログラム

紙芝居 堀内さんが描いた紙芝居を実演します。

演者／大月ひかる（紙芝居師）

日時／8月1日（土）

11時～ 約30分 『したきりすずめ』（脚本／松谷みよ子、絵／堀内誠一）

13時～ 約30分 『こぶたのまーち』（作／村山桂子、絵／堀内誠一）

会場／1階文学サロン 料金／無料 各回先着80名 *直接会場へお越しください。

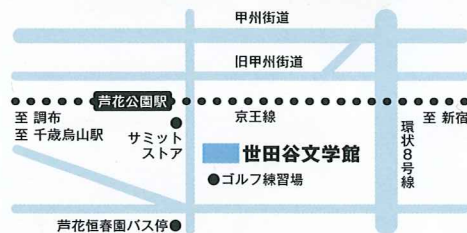
財団法人 せたがや文化財団

世田谷文学館

157-0062 東京都世田谷区南烏山1-10-10

Tel: 03-5374-9111 (代) Fax: 03-5374-9120

ホームページ <http://www.setabun.or.jp/>



■京王線……芦花公園駅下車 南口から徒歩5分

■小田急線……千歳船橋駅からバス利用
(京王バス蔵23系統 千歳烏山駅行き)
芦花恒春園下車 徒歩5分

■次回企画展
久世光彦展 (仮称)
2009年9月19日(土)～11月29日(日)